

ページ

だけの方、お子さんのス
話題を募集しています！
課まで。

まちはクリスマス1色に染まり、キラキラしたイルミネーションには、心が躍ります。子どもたちはサンタクロースが来るのを、まだかまだかと待つ毎日ですね。今年はどうなプレゼントが届くのかな。

◎前回の答え (11/1) と当選者

問1 - ①6億5867万1981円 問2 - ③税を考える
問3 - ②28日間

正解総数11通 (応募総数11通) の中から抽選で、那須とよ子さん (大栄町1)、大下茂さん (川岸東2)、佐藤美佐子さん (若宮1)、外木雄さん (川崎市)、上田さちえさん (川岸上4) にオリジナルスプーンをお送りします。

あなたに 挑戦!

No.252

広報クイズ

問1 12月からコンビニでも支払いができるようになる、公共料金は？

答え ①書類の発行手数料
②上下水道料金 ③郵便料金

問2 村山知義の童画展が始まります。彼は童画家だけでなくさまざまな方面で活躍していましたが、どんな分野でしょう？

答え ①政治家 ②戯曲作家
③舞台演出家

問3 ある自然エネルギーをタンクに貯めて、地球に優しい生活をさせませんか？

答え ①光 ②風 ③水

ヒント…記事を読むと…。

◆広報クイズ応募方法

はがきに、答えの番号、住所、氏名、年齢、電話番号、ひと言を書き、広報クイズ係《〒394-8510 岡谷市役所 (住所不要)》までお送りください。抽選で5名の方に武井武雄ラムラム王オリジナルスプーンをお送りします。12月20日の消印まで有効。(ひと言は15日号みんなの声」に掲載させていただく場合があります)

市民しポーター だより

小平 陽子さんの
児童虐待防止への取り組みレポート

地域の力「こんにちは赤ちゃん」事業

最近、虐待やいじめなどで子どもの命が断たれる報道が多く伝えられ、耳にするたびに、もっと早いうちに周囲が気づけなかったのか、打つ手はなかったのかと、やりきれない気持ちになります。

児童虐待防止への市の取り組みを、子ども課主幹の松村さんにお聞きしました。社会の意識、関心が高まる中、長野県では昨年より「児童虐待・DV 24時間ホットライン」を開設、相談通告件数は過去最多になりました。市民の通告義務という認識も広まり、市でも窓口を開設、カウンセラーの方も対応しているそうです。

虐待防止の為に、子育て支援や早期発見が非常に重要です。本当に思い通りに行かないのが子育て。己育てとも言われる由縁、忍耐もしばしば。小さな悩み事も孤立した環境では大きなストレスとなり得ます。市には多くの子育てサークルが活動し、相談の場が設けられています。しかし、サークルに参加したり相談の場へ自ら出て来れる方は良いのですが出てこないで問題を抱えてしまう方もいるかもしれません。

この春から民生児童委員さんによる自主的な活動「こんにちは赤ちゃん」事業が始まりました。三〜四ヶ月検診時にお母さんの希望を伺い民生児童委員さんがお祝いの品を持って自宅を訪問。子育てに役立つ情報、サークル、相談機関の紹介をします。専門機関へのパイプ役として活動し、信頼関係の保てる聞き役となる様心がけているそうです。このようにプライバシーに配慮しながら見守る活動は「大切な地域の力」といえます。子どもは社会の宝、みんなで見守って育んでいきたいですね。



子ども課 主幹 松村佳江 さん



市民レポーター 小平陽子 さん



ヤングナウ NOW YOUNG NOW

No.199

みんなの

一品料理を紹介していた
ナップ写真、また身近な
企画



みんなを
わくわくさせる作品を

ま せ が き た か こ
真瀬垣 貴子さん
(若宮)

Q 大変なことは？
頭の中でデザインしたものを、そのまま形にするのが難しい

Q 将来の夢は？
デザインを見てもらった時、手にとってもらった時に、人の心をくすぐれるものをつくりたいです。それと、オリジナル商品の分野も積極的に活動している会社なので、商品を見て、すぐにクローバーデザインの仕事だと、みんなが気付いてくれる会社になったらいいと思います。

Q お仕事の内容は？
広告やチラシ、ポスターの制作をしています。最近では、オルゴール付のポストカードのデザインをやらせてもらいました。広告などと違って、自分の個性が存分にだせたので、今の実力を知る機会になりました。

Q どうしてこのお仕事を？

雑貨が好きで、自分でデザインしたものをも自分でつくる、ものづくりの仕事をしたいからです。

Q やりがいは？

制作物を見た瞬間に、お客様の率直な褒め言葉が嬉しく、自信にもつながります。

です。どこをどう見せたらインパクトがでるか、見せたいところを強調させるにはどうしたらいいか、なかなか思い通りにはいかないです。

Q やりがいは？

制作物を見た瞬間に、お客様の率直な褒め言葉が嬉しく、自信にもつながります。

Q 将来の夢は？

デザインを見てもらった時、手にとってもらった時に、人の心をくすぐれるものをつくりたいです。それと、オリジナル商品の分野も積極的に活動している会社なので、商品を見て、すぐにクローバーデザインの仕事だと、みんなが気付いてくれる会社になったらいいと思います。

No More Bullying!! -いじめをなくそう!!-

日本各地の学校では「いじめ」が依然として大きな問題になっています。多くの小学生、中学生、高校生が、他の生徒にいじめられて自らの命を絶っています。多くのニュージーランドの若者も同じような悩みがあり、いじめが彼らを自殺に走らせます。

ニュージーランドの子どもの約20%が、いじめの犠牲者となっているか、または自分自身が他の子どもをいじめています。そしていじめられている子どものうち、学校の教師に言うのは、わずか2割です。世界各国で行われた調査によると、15%の高校生が「よくいじめられている」と答え、「最低週に1回いじめられている」と答えた高校生が9%います。これは、世界平均の9%、6%を上回ります。

数年前、ニュージーランドの学校におけるいじめ問題

の解決に向けて、ニュージーランド警察はニュージーランド電信電話公社 (TELECOM) と共同して、「KIA KAHA (キア カハ)」という教育プログラムを開発しました。「KIA KAHA」はマオリ語 (ニュージーランドの先住民の言葉) の格言で、「強くあれ、そして堂々と立て」という意味です。この格言がプログラムの基本理念となり、小学校の1年生から高校の5年生まで (日本の高校3年生に当る) 全学年を対象とし、学校内で子どもが安心を感じ、尊敬され、自分の価値を実感する、いじめが盛んにならない環境を築くことをめざします。「KIA KAHA」のようないじめ対策を実施している学校は、大幅にいじめを減らすことに成功しました。

やはりいじめは「世界共通の問題」でもありますので、日本も他の国の対策例を参考にして、これから国として、またはそれぞれの市町村として、多くの子どもの命を奪うこの問題をどのよ



国際交流員の
セーラ・アキレス です

No.25